平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月10日

上場会社名　日本上下水道設計株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2325　URL　http://www.njs.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 木下　哲
問合せ先責任者 (役職名) 取締役広報室長　(氏名) 富崎　浩司　TEL 03-5269-6510

四半期報告書提出予定日　平成25年5月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	2,307	23.2	△22	―	13	△58.6	△26	―
24年12月期第1四半期	1,873	△16.0	△0	―	32	△81.3	10	―

(注)包括利益　25年12月期第1四半期　86百万円　(△47.9%)　24年12月期第1四半期　165百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	△2.75	―
24年12月期第1四半期	1.05	―

(注)平成25年1月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。
1株当たり四半期純利益の金額は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第1四半期	22,930	15,291	66.7	1,568.72
24年12月期	20,644	15,419	74.7	1,581.86

(参考) 自己資本　25年12月期第1四半期　15,291百万円　24年12月期　15,419百万円

(注)平成25年1月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。
1株当たり純資産の金額は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	2,200.00	―	2,200.00	4,400.00
25年12月期	―				
25年12月期(予想)		20.00	―	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

※1. 24年12月期中間・期末配当金の内訳　普通配当　2,000円00銭　記念配当　200円00銭
2. 平成25年1月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。
平成24年12月期の配当につきましては、株式分割前の株式数を基準に配当額を算定しております。

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年 1月 1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	―	―	―	―	―	―	―	―	―
通期	14,180	4.2	970	△26.8	1,020	△28.3	600	△17.5	61.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　平成25年12月期の第2四半期(累計)連結業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	10,048,000 株	24年12月期	10,048,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	300,000 株	24年12月期	300,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	9,748,000 株	24年12月期1Q	9,748,000 株

(注)平成25年1月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧下さい。

(株式分割について)
当社は、平成25年1月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策への期待感から円安の進行と株価の上昇が進み、輸出企業を中心に収益改善の兆しが見られるものの、欧州債務問題や新興国の経済成長の減速等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が継続しました。

「水と環境のコンサルタント業界」を取り巻く経営環境は、顧客ニーズの高度化や低コスト化の要請を受け企業間競争が熾烈になるなど依然として厳しい状況が続いておりますが、新政権が「国土強靭化計画」として防災・減災対策や老朽化した社会資本の改築・更新に積極的に取り組む方針を打ち出し、インフラ整備事業の需要は高まりつつあります。

このような状況のもと、当第１四半期連結累計期間の受注高は1,958百万円（前年同期比30.2%減）となりました。連結売上高は、前期からの繰越業務が増加したこと等により2,307百万円（同23.2%増）となりました。

利益面では、海外業務における経費増加等により営業損失は22百万円（前年同期は営業損失0百万円）、経常利益は営業外収益で為替差益を計上したこと等により13百万円（前年同期比58.6%減）、四半期純損失は特別損失で損害補償損失引当金繰入額を計上したこと等により26百万円（前年同期は四半期純利益10百万円）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

（国内業務）

国内業務におきましては、東日本大震災後、全社を挙げた復旧支援の体制を築き、被災自治体の復旧・復興事業に積極的に取り組んでまいりました。また、上下水道施設の長寿命化に向けた資産管理（アセットマネジメント）及び地震対策、浸水対策の分野において積極的な営業活動を行うとともに、総合的な技術力を駆使し、経済性、安全性及び環境に配慮した様々なコンサルティングサービスを提供してまいりました。この結果、受注高は1,452百万円(前年同期比14.6%減)、売上高は1,548百万円(同18.1%増)、営業利益は116百万円(同603.9%増)となりました。

（海外業務）

海外業務におきましては、アジア、中東、中南米、アフリカなど世界的に積極的な営業活動に取り組むとともに、受注済み案件の着実な遂行に注力いたしました。この結果、受注高は505百万円（同54.1%減）、売上高は730百万円（同36.1%増）、営業損失は129百万円（前年同期は営業利益8百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、未成業務支出金の増加等により前連結会計年度末と比較して2,286百万円増加し22,930百万円となりました。

負債は、未成業務受入金の増加等により、2,414百万円増加し7,638百万円となりました。

純資産は、剰余金の配当等により128百万円減少し15,291百万円となりました。この結果、自己資本比率は66.7%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年２月14日に公表いたしました連結業績予想から修正しておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う損益への影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,173,769	8,738,972
受取手形及び完成業務未収入金	1,052,157	948,808
未成業務支出金	4,192,503	5,665,001
その他	672,447	943,054
貸倒引当金	△13,795	△14,128
流動資産合計	14,077,083	16,281,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,227,216	1,211,802
土地	1,326,543	1,326,543
その他（純額）	46,960	49,159
有形固定資産合計	2,600,720	2,587,505
無形固定資産	96,276	93,501
投資その他の資産		
投資有価証券	1,687,609	1,854,512
その他	2,182,875	2,113,436
投資その他の資産合計	3,870,485	3,967,948
固定資産合計	6,567,482	6,648,955
資産合計	20,644,565	22,930,664

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
負債の部		
流動負債		
業務未払金	408,041	537,028
未払法人税等	426,151	171,576
未成業務受入金	1,976,235	4,412,151
賞与引当金	363,070	653,530
受注損失引当金	15,397	13,318
損害補償損失引当金	－	38,747
その他	719,624	516,354
流動負債合計	3,908,521	6,342,706
固定負債		
退職給付引当金	1,125,495	1,119,464
その他	190,624	176,644
固定負債合計	1,316,119	1,296,108
負債合計	5,224,641	7,638,815
純資産の部		
株主資本		
資本金	520,000	520,000
資本剰余金	300,120	300,120
利益剰余金	14,853,425	14,612,122
自己株式	△398,940	△398,940
株主資本合計	15,274,605	15,033,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	170,813	278,345
為替換算調整勘定	△25,494	△19,797
その他の包括利益累計額合計	145,319	258,547
純資産合計	15,419,924	15,291,849
負債純資産合計	20,644,565	22,930,664

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）
売上高	1,873,128	2,307,056
売上原価	1,262,340	1,672,750
売上総利益	610,788	634,305
販売費及び一般管理費	611,347	656,949
営業損失（△）	△559	△22,644
営業外収益		
受取利息	3,753	3,528
受取配当金	2,847	2,914
為替差益	22,915	25,622
その他	3,799	4,133
営業外収益合計	33,315	36,199
経常利益	32,756	13,554
特別損失		
損害補償損失引当金繰入額	－	38,747
特別損失合計	－	38,747
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	32,756	△25,192
法人税、住民税及び事業税	112,192	175,761
法人税等調整額	△89,709	△174,106
法人税等合計	22,482	1,654
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	10,274	△26,847
四半期純利益又は四半期純損失（△）	10,274	△26,847

(四半期連結包括利益計算書)
(第１四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	10,274	△26,847
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	152,448	107,531
為替換算調整勘定	3,108	5,696
その他の包括利益合計	155,557	113,228
四半期包括利益	165,831	86,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165,831	86,381
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 平成24年１月１日 至 平成24年３月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	国内業務	海外業務	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,309,114	536,373	1,845,488	27,640	1,873,128	－	1,873,128
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,638	－	1,638	－	1,638	△1,638	－
計	1,310,752	536,373	1,847,126	27,640	1,874,766	△1,638	1,873,128
セグメント利益又はセグメント損失（△）	16,487	8,820	25,307	11,852	37,160	△37,719	△559

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を行っております。
２．セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自 平成25年１月１日 至 平成25年３月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	国内業務	海外業務	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,548,145	730,197	2,278,343	28,712	2,307,056	－	2,307,056
セグメント間の内部売上高又は振替高	42	－	42	－	42	△42	－
計	1,548,187	730,197	2,278,385	28,712	2,307,098	△42	2,307,056
セグメント利益又はセグメント損失（△）	116,064	△129,179	△13,115	13,655	540	△23,185	△22,644

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を行っております。
２．セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。